

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 04 07	中期総合計画主要施策番号		3-05	担当課	部・課	社会部障害福祉課	
事業名		障害者余暇活動支援事業					内線	2388	
							E-mail	fukushi@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・休日等にスポーツ・レクリエーション等の活動の場を提供し、障害者等が身近な地域で充実した生活をする。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・障害者にとって、スポーツやレクリエーションができる場所や機会が限られてしまっている。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・障害者が施設から地域で生活する取り組みが始まって間がなく、また民間における受け皿作りの取り組みも十分でないため。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・障害者が地域で充実した生活を送るため、余暇活動の場を障害者に提供する必要がある。							
	事業内容	・障害者にレクリエーション等の場を提供し、週末等の余暇活動の過ごし方に関する相談支援を行うことで、障害者等の余暇の充実を図る。また、ボランティアを育成し、障害者への理解を促進し、支え合いの輪を構築する。 ・市町村が行う余暇活動支援事業に対する費用について補助する。(補助率:【県】1/2、【市町村】1/2)							
実施期間	H16 ~		根拠法令等	障害者余暇活動支援事業実施要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・余暇活動を実施する事業者を支援し、障害者に余暇活動の場の提供をすることにより、生活の充実と自立、社会参加の促進を図る。		・実施予定事業者(62事業者)に対し、補助を実施する。			・62事業者に対し、補助を実施した。(H20:延べ参加者数 12,551人)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	5,500	7,750		国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	4,295	5,280		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0		歳出節別内訳等	補助金5,280	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.06	0.06	0.06	(単位: 千円)		
	概算人件費 (C)		千円	428	429	429			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	4,723	5,709	429				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	事業者数		者	27	62	65			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・障害者の地域生活への移行を背景に、おおむね順調に推移している。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり		・19年度には旧知的障害者地域活動支援事業、20年度には旧希望の旅事業を本事業に含めたことにより、本事業の重要性は高まっている。		
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり		・例年、決算時に多額の不要額を生じていることから部内の県単事業補助金と統合を図ることで、市町村が各々の実情に応じて活用できるよう21年度より整備した。		
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・障害者への余暇活動の場の提供は、障害者のニーズが高く、引き続き実施することが必要である。 ・当該事業は21年度から「地域福祉総合助成金交付事業」として、市町村が各々の実情に応じて補助金を有効活用できるよう社会部における他の県単独事業と統合補助金化を図ったが、引き続き市町村等の意見・実情に応じた補助となるよう検討していく。						